

クラブ7人リレーオリエンテーリング大会 2011 2011年10月2日 栃木県日光市

新生7人リレーが日光にやってきた。東日本大震災で沈みがちな日光の地に、オリエンテーリング愛好家がスポーツの活力を運んできた。

2011年10月2日(日) 栃木県日光市
クラブ7人リレー2001



7人リレーウイニングランを飾るES関東C
(撮影：上林)

クラブ7人リレー

優勝	ES 関東 C-A	3:06:41
1走	山本真司	
2走	小暮喜代志	
3走	加藤弘之	
4走	渡辺円香	
5走	山口季見子	
6走	藤沼 崇	
7走	山口大助	
2位	みちの会 A	3:09:19
3位	静岡 OLC	3:13:18
4位	片塾	3:13:51
5位	名相選抜チーム	3:16:00
6位	鞍部同好会	3:17:07

クラブベテランカップ

優勝	多摩 OL-C	1:54:54
1走	菊澤恵三	
2走	宇野浩一	
3走	児玉拓	
4走	小野賢二	
2位	ES 関東 C-X	1:58:24
3位	入間市 OLC-B	2:11:31

ES 関東 7人リレー優勝

6走の藤沼でトップに立った ES 関東はアンカーの山口大介で逃げ切り優勝を決めた。7人リレーのコンセプトどおりに2名の女性メンバーを入れた布陣で優勝を飾った。3走でトップラップを叩き出した加藤をはじめ、男子の日本代表級を3名揃え、女子に日本スプリ

ントチャンプの渡辺円香も揃えた力強いメンバーが前評判通りに優勝を決めた。

2位に入ったのは前年の7人リレーで優勝したみちの会。こちらも女性2名を含むメンバーで堂々たる成績だ。

村越、松澤という2枚エースの猛追で3位を果たしたのが静岡 OLC。

上位3チームは女性、若手、ベテラン、エースがブレンドされた元気のある地域クラブが占めた。

それに続く4位、5位、6位は若手中心のチーム。上位に肉薄するその勢いは頼もしい。特に5位の名相選抜チームは学生だけで構成されたチーム。その健闘ぶりが光る。

ベテランは多摩 OL

昨年のベテランカップでES関東の美女軍団は京葉 OLC に僅差で敗れた。今年はりベンジを誓うも、京葉 OLC はベテランカップには現れず、美女軍団がいよいよベテラン覇者として君臨するのかもしれない。

そこに待ったをかけたのが、名門・多摩 OL のおっさん軍団。追いつがる美女軍団を振りほどいてベテランカップを手にした。

オープン参加ながらベテランカップのベストタイムを叩き出したのは、東海 OLC の高校生チームだった。

リレー向きのトレイン

トレインは日光市の「今市青少年スポーツセンター」周辺に広がる平地林。

25年ほど昔に関東学連主体に地図が作成され、何度か使用された場所だが、トレインの狭いことや他のトレインから離れていることから最近は全く使われなくなっていたトレインである。

これが今回の7人リレー大会のために復活した。それほど広くないトレイン、平らで通行可能度の高い林、難易度が高すぎず周囲が安全な農地で囲まれている。ここはまさに7人リレーに適したトレインなのだ。

新生7人リレー

山川氏が主宰する7人リレーが日本のオリエンテーリング界を代表するリレー競技会となって久しい。昨年まで

のクラブカップ7人リレーは一旦終了し、今回から新生クラブ7人リレーとなった。実際の競技形態は変わらないため何が変わったのか判りにくい。そこで新生7人リレーがどのようなイベントを目指すのか、旧クラブカップと比較してみよう。

旧クラブカップ

実施期間：夏季を中心とする

実施形態：野外キャンプなどとあわせて楽しむ形態を目指す。

開催場所：東京と名古屋の間が基本。

新クラブ7人リレー

上記の制約を取り払い、招聘してくれる地元団体の都合に合わせる。

日光に元気を

こうした方針転換により、初めて日光の地でクラブ7人リレーが開催された。

またこの日光の地は2011年3月の福島原子力発電所事故後の風評被害により観光客が激減し、地元産業が大きな打撃を受けている場所でもある。オリエンテーリングの聖地とも言える日光に少しでも力になれば・・・訪れる人が増えて賑やかさが少しでも戻ってくれば・・・山川氏のそんな思いも今回の日光開催を決めた要因だ。

2011年の怒涛の春から節電の夏を越え、やっと日光に平穏の秋が戻ってきたような、そんな穏やかな日だった。

(木村佳司)



第一走者のスタート。
各クラブが火花を散らす。
(撮影：上林)